



岡山県立図書館 教育関係新着資料

2019年
7月号

『0.1.2歳児愛着関係をはぐくむ保育 40の事例を通して考える』

帆足 暁子／著 学研教育みらい／発行 請求記号 376.11/ホ719/
資料番号 0014858971

幼児教育



【内容】

ボウルビィによって提唱された「愛着」。「愛着」とは、「不安」を「安心」に変えてくれる、ほっとするような感じであり、「愛着」があることで、子どもたちは安心して外の世界に向かっていくのだと、著者は言われます。では、「愛着」はどのようにして育むのでしょうか。「抱きしめて」あげる、「抱っこ」してあげる、そして何よりも「一緒に遊んでるの、うれしいね」、「寂しかったよね」、「〇〇ちゃん、悲しそうね」、などと、子どもの気持ちを言葉にしてあげることが大切だそうです。たくさんの事例を通して分かりやすく解説された一冊です。

『これでどの子ども文章題に立ち向かえる!算数授業づくり』

樋口 万太郎／著 学陽書房／発行 請求記号 375.412/ヒク19/
資料番号 0014904395

小学校



【内容】

懇談などで、「うちの子は、文章題が苦手なんです。」と言われた経験が1度や2度ではないはず。また、授業で教えていても、計算問題はスラスラできるけど、文章題になると全くできないという児童が、学級には相当数いるのではないのでしょうか。分数÷分数の問題や、5年生の割合の問題などの文章題は、大人でも少し戸惑ってしまうこともあります。本書では、線分図やドット図、4マス関係表などを自分で選択して使ったり、分数や小数の問題などでは、簡単な数字に置き換えたりするなどして、算数における文章題を克服していく方法を身に付けさせる方策と、その指導の仕方が紹介されています。

『保育者のための子ども虐待対応の基本 事例から学ぶ「気づき」のポイントと保育現場の役割』

保育と虐待対応事例研究会／編著 ひとなる書房／発行 請求記号 369.4/ホ119/
資料番号 0014870505

教科・専門・分掌



【内容】

厚生労働省の統計によると、2016年度の児童相談所における児童虐待相談対応件数は122,575件、また2017年度の速報値では、133,788件で過去最多になるそうです。本書では、第1部の児童虐待とはから始まり、第2部では、気づき、初期対応から通報、引き継ぎまでの流れが、第3部では、事例に学ぶ対応の実際とポイントが分かりやすく紹介されています。「おわりに」に書かれている、『目をつぶることは、「かけがえのない大切な命」が、「救えたかもしれない命」になってしまうことにつながるのです。』という筆者の言葉が、保育・教育に携わる私たちの心に強く深く響きます。

『学びにくい子へのちょっとサポート 授業で行う合理的配慮のミニアイデア』

佐藤 慎二／編著 明治図書出版／発行 請求記号 378/サ19/
資料番号 0014913461

特別支援教育



【内容】

わが国においては障害者差別解消法が平成28年4月より施行されており、この法律では、役所や事業者に対して合理的配慮の提供が求めています。では、学校で行われる合理的配慮の提供とは何でしょうか？本書において著者は、まずは配慮を要する子どもに「ないと困る」、どの子どもにも「あると便利で・役に立つ」ユニバーサルな支援を行い、それでもなお個のニーズに特化した配慮を行うこと、それが合理的配慮だと言っています。本書では、「指で計算九九」や「見て分かる片づけ法」などの合理的配慮のミニアイデアが教科ごとに整理されており、すぐに使えるものがたくさん紹介されています。

★最寄りの市町村図書館でも、県立図書館の本を貸出・返却できます。

(詳しくは岡山県立図書館ホームページの「利用案内」をご覧ください。)

